



被爆80周年

Piece of Peace
平和のかけら

広島交響楽団

第458回 プレミアム定期演奏会

Hiroshima Symphony Orchestra The 458th Premium Subscription Concert

リスト(没後140年)

ピアノ協奏曲第1番変ホ長調 S.124/R.455

Liszt: Piano Concerto No.1 in E-flat major S.124/R.455

ワーグナー

楽劇「ワルキューレ」より第1幕

(演奏会形式・字幕付き)〈群馬交響楽団共同制作〉

Wagner: Die Walküre Act1 (Concertante)

コンサートマスター:三上亮

Concertmaster: Ryo Mikami

平和のかけら

被爆80周年定期演奏会のハイライトに、楽劇「ワルキューレ」第1幕(演奏会形式)をアルミンク指揮で贈る。前半はリストの没後140年を記念し、2024年のゲザ・アンダ・国際ピアノコンクールでリスト・バルトーク賞を受賞、2025年のエリザベート王妃国際音楽コンクールで日本人史上最高位の第2位を受賞した久末航を抜擢。ピアノ協奏曲第1番を届ける。アルミンクが役柄に応じて厳選した3名の歌手とともに楽劇「ワルキューレ」から「神々の黄昏」へ至る物語りに想いを馳せ、現代においてなお続く紛争と渦巻く陰謀や欲望、憎しみの連鎖を超え、真なる愛と平和を象徴する広島への想いを世界に届ける。

2026.2.14(土) 15:00開演
[14:00開場]

Saturday, February 14, 2026 Start 15:00 [Open 14:00]

広島文化学園HBGホール 広島市中区加古町3-3

Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

チケット(税込/全席指定)

S席6,800円・A席6,200円・B席5,500円(学生1,500円)

※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。要学生証。(広警事務局のみで取り扱い)

チケット発売日/2025年12月15日(月)

プレイガイド/広警事務局、ローソンチケット(Lコード:63347)、チケットぴあ(Pコード:289-297)

主催/公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助成/



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
| 独立行政法人日本芸術文化振興会

公益財団法人 合人社財団

プレミアム協賛/



後援/広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、ちゅびCOM、月刊ウェンディ出版局

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。
※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。
※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

お申し込み・お問い合わせ

広警事務局 TEL:082-532-3080 <http://hirokryo.or.jp>



広警公式HP

指揮 クリスティアン・アルミンク

Conductor: Christian Arming

ピアノ 久末航

Piano: Wataru Hisasue

©Janine Guldener

ジークムント(テノール) 村上敏明

Siegmond (Tenor): Toshiaki Murakami

ジークリンデ(ソプラノ) 渡邊仁美

Sieglinde (Soprano): Hitomi Watanabe

フンディング(バス・バリトン) 志村文彦

Hunding (Bass-Baritone): Fumihiko Shimura



©Shumpei Ohsugi

第458回プレミアム定期演奏会



被爆80周年

Piece of Peace
平和のかけら

Hiroshima Symphony Orchestra The 458th Premium Subscription Concert

指揮 クリスティアン・アルミンク

Conductor: Christian Arming

ウィーン生まれ。レオポルト・ハーガーや小澤征爾のもとで研鑽を積み、ボストン響や新日本フィルにデビュー。ヤナーチェク・フィルの首席指揮者、ルツェルン歌劇場およびルツェルン響の音楽監督などを経て、2003～13年に新日本フィル、2011～19年にベルギー王立リエージュ・フィルの音楽監督として活躍。2017年から広島交響楽団の首席客演指揮者を務め、2024年に同団の音楽監督に就任した。
これまでにチェコ・フィル、ドレスデン・シュターツカペレ、フランクフルト放送響、ウィーン響、ザルツブルク・モーツァルト管、トゥールーズ・キャピトル国立管、

スイス・ロマン管、ボストン響、シンシナティ響、N響などに招かれ、オペラではフランクフルトやストラスブールの歌劇場、新日本フィルなどで《ドン・ジョヴァンニ》《サロメ》《ホフマン物語》《フィレンツェの悲劇》などを指揮している。2019年に小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトで小澤征爾と共に《カルメン》全4公演、2024年に東京二期会オペラ《コジ・ファン・トゥッテ》全6公演を指揮し、岡山公演では広響と共に演奏した。
レコーディングも数多く、ヤナーチェク・フィルとのヤナーチェク、シューベルト作品、新日本フィルとのブラームス／交響曲第1番、マーラー／交響曲第3番および第5番、リエージュ・フィルとのフランク／交響曲2短調などで高い評価を得ている。2025年4月には、広響音楽監督就任披露公演で取り上げたR.シュトラウス／アルプス交響曲のライブ録音をリリースした。



©Shumpel Ohsugi

ピアノ 久末航

Piano: Wataru Hisasue

2025年、世界三大コンクールのひとつ、エリザベート王妃国際音楽コンクールで日本人史上最高位の第2位受賞。国際的に大きな話題を集めた。2017年にはミュンヘン国際音楽コンクールで第3位および委嘱作品特別賞を受賞。その他、リヨン国際ピアノコンクール第1位および聴衆賞、2009年度青山音楽賞新人賞、2019年度青山音楽賞バロックザール賞、2024年度青山音楽賞青山賞受賞。24年に行われた第16回ゲザ・アング国際ピアノコンクールでは、審査員によって授与される2つの特別賞（ベートーヴェン賞およびリスト・バルトーク賞）を受賞。これまで、ヨーロッパの数々の音楽祭に出演。バイエルン放送交響楽団、ブリュッセル・フィルハーモニー管弦楽団、アントワープ交響楽団、ベルギー国立管弦楽団、東京都交響楽団などと共演。21年、CD『ザ・リサイタル』をリリース、『レコード芸術』誌で特選盤に選ばれる。25年10月、ドイツのレーベル GENUIN classics からデュサバン作品集をリリース。平成25年度平和堂財団芸術奨励賞音楽部門受賞、同財団海外留学助成者。2018/19年度公益財団法人ロームミュージックファンデーション奨学生。辰巳晴生・美行、村上久仁子、田隅靖子各氏の指導を受け、フライブルク音楽大学、パリ国立高等音楽院、ベルリン芸術大学にて研鑽を積み、それぞれ最優秀の成績をもって修了。G.ミシヨリ、E.シュトロッセ、P.ドヴァイヨン、K.ヘルヴィヒ各氏に師事。ベルリン在住。



©Janine Guldener



ジークムント(テノール) 村上敏明

Siegmund (Tenor): Toshiaki Murakami

国立音楽大学卒業。文化庁在外研修員として、2001年より伊ボローニャへ留学。その後、07年まで伊を拠点に活動を続ける。02年に、オルヴィエートのマンチネリ劇場にて『リコレッタ』マントヴァ公爵でヨーロッパデビュー。『蝶々夫人』ピンカートン、『イル・トロヴァトーレ』マンリーコ等、伊各地で出演。10年、イスボレーのDue Mondì音楽祭にてオペラ『午後の曳航』NOBORUを演じ各マスコミより絶賛された。新国立劇場『カルメン』ドン・ホセ、『椿姫』アルフレード、『ワルキューレ』ジークムント、『修禪寺物語』頼家、藤原歌劇団『ラ・ボエーム』ロドルフォ、『ルチア』エドガルド等、びわ湖ホール『ホフマン物語』ホフマン等、全国各地の主要オペラプロダクションにて主演し、常に最大級の賛辞を受けている。
第9回マダムバタフライ世界コンクール優勝の他、15の国際声楽コンクールで優勝または上位入賞。2004年には、第40回日伊声楽コンクール第1位、第35回イタリア声楽コンクール・シエナ大賞受賞。平成16年度五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。
イタリアオペラを中心に70役を超える幅広いレパートリーを有し、人気・実力ともに、日本を代表するテノールとして、活躍の幅を広げている。二期会会員。

ジークリンデ(ソプラノ) 渡邊仁美

Sieglinde (Soprano): Hitomi Watanabe

東京藝術大学卒業、同大学院修士課程オペラ専攻修了。ザルツブルク・モーツァルト大学修士課程歌曲・宗教曲科を最優秀の成績で修了。二期会オペラ研修所マスタークラス修了時に優秀賞及び奨励賞、第18回日仏声楽コンクール第2位受賞。二期会ニューウェーブ・オペラ劇場『アルチーナ』（鈴木秀美指揮）タイトルロールでデビュー、以降二期会では、『蝶々夫人』（G.デスピノーサ指揮）、『サロメ』（S.ヴァイグレ指揮）、『ルル』（M.バスカル指揮）等でそれぞれタイトルロールのカヴァーを務める。その他、J.ノット指揮『サロメ』、『ばらの騎士』（演奏会形式）帽子屋／マリアンネにも出演し高い評価を得る。23年二期会コンチェルト・シリーズ『平和の日』（準・メルクル指揮）マリア、さらに24年二期会『タンホイザー』（A.コーバー指揮）エリザベートでも確かな音楽性と華やかな舞台姿で好評を博し、同年二期会『影のない女』（A.ベレス指揮）皇后では、磨き抜かれた歌唱と演技で存在感を示した。コンサート・ソリストとしても、ベートーヴェン『交響曲第9番』、ブルックナー『ミサ曲第3番』の他、モーツァルト、バッハ、ハイドン、フォーレ等で幅広く活躍している。二期会会員。



フンディング(バス・バリトン) 志村文彦

Hunding (Bass-Baritone): Fumihiko Shimura

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。第22回イタリア声楽コンクール・ミラノ部門金賞受賞。第27回日伊声楽コンクール第1位等多数受賞。平成3年度文化庁芸術インターンシップ研修員。オペラにおいては、二期会『ドン・ジョヴァンニ』騎士長でデビュー以来、『ワルキューレ』フンディング（大野和士指揮）、『ファルスタッフ』ピストーラ等オペラの舞台には欠かせない存在として多数出演。その他『金閣寺』道詮和尚、『蝶々夫人』ボンゾ、『天国と地獄』バックス等、ブッファから重厚な役までレパートリーは幅広い。新日本フィル『サロメ』、日生劇場『マクドブス家の事』等にてC.アルミンク氏と共演。近年では、兵庫県立芸術文化センター、新国立劇場、二期会、東京・春・音楽祭等で『トスカ』堂守、25年二期会『さまよえるオランダ人』ダーラント、新国立劇場『ラ・ボエーム』ペノアで好評を博す。メディアへの出演も多く、テレビ朝日『題名のない音楽会』にて『ラインの黄金』アルペリヒで迫力ある歌唱を披露。ソリストとしても、『グレの歌』をはじめモーツァルト『レクイエム』『ハ短調ミサ』『第九』等で主要オーケストラとの共演も多い。東京音楽大学教授。二期会会員。

次回予告

第459回定期演奏会

シベリウス:

交響的幻想曲「ボホヨラの娘」作品49

リスト(没後140年):

ピアノ協奏曲第2番イ長調 S.125/R.456

ブラームス:

交響曲第2番ニ長調作品73

2026.3.7(土) 15:00開演
[14:00開場] 広島文化学園HBGホール



©Takayuki Yoshida

指揮
ピエタリ・インキネン



©JF Mousseau

ピアノ
キット・アームストロング



2026年度
定期会員募集のご案内

4月～3月の定期
全10回

S席 42,000円 A席 38,500円 B席 33,600円

お申し込みは広響事務局までお電話ください。(受付期間2026年2月3日～2026年4月15日)

2026年度の公演内容はこちらからご覧ください▶

